学校だより 7月号

八潮市立柳之宮小学校 令和8年7月1日

学校教育目標
やさしい子
元気な子
考える子

子どもたちの素晴らしい成長

八潮市立柳之宮小学校長　砂賀　正史

小暑の候、保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。一学期も早いもので、七月を迎えました。入学式から小学校生活を始めた一年生の子どもたちも、今ではすっかり柳之宮小学校の一員として、心身ともにたくましく成長している様子が見られます。また、二年生から六年生の子どもたちも、それぞれの学年に応じた学習活動や学校生活を着実に身につけようと努力しており、この一学期を通しての成長が随所に感じられます。

さて、この三ヶ月間を振り返り、今、私は子どもたちの目覚ましい成長に大きな喜びを感じております。それは校内に響く子どもたちの「あいさつ」が、見違えるほど素敵になったからです。廊下ですれ違うと、「〇〇先生、おはようございます！」「〇〇先生、こんにちは！」と、明るくはつらつとした声が返ってきます。私も思わず笑顔になり、子どもたちに大きく手を振りながら元気を分けてもらう毎日です。職員室でも、「最近の子どもたちのあいさつ、本当に素晴らしいですね」と、先生方の間でよく話題にのぼっています。あいさつとは、相手の存在を認め、お互いの心を結ぶ大切な魔法の言葉です。今、柳之宮小学校に広がっている素晴らしいあいさつは、確かな「相乗効果」を生み出しています。



何より嬉しいのは、子どもたち同士が自然と支え合う場面が増えたことです。困っている友達を見かけると、そっと優しく手を差し伸べる姿。授業中に「ここ、どうやるの？」「こうだよ」と教え合い、安心して学び合う姿が、教室のあちこちで見られるようになりました。そして学校全体が、とても「穏やかな空気」に包まれています。子どもたちの笑顔が穏やかであり、それを見守る先生方の眼差しもまた、穏やかです。

今年度、本校が掲げている目指す学校像は「笑顔で登校し、満足して下校する柳之宮小学校」です。この三ヶ月間は、まさに気持ちのよいあいさつを通して、温かい仲間関係の土台を築くことができ目指す学校像の具現化に繋がっているようです。いよいよ一学期のまとめの月を迎えます。これまでの成果と課題をしっかりと見つめ直し、もう一回り成長できるよう、教職員一丸となって丁寧に指導を続けてまいります。今月も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

